



2022年7月26日

内閣総理大臣 岸田文雄殿
法務大臣 古川禎久殿

日本基督教団社会委員会
委員長 森下 耕

死刑執行を繰り返さないよう要望します

私たちは、7月26日に法務大臣が氏名を公表し、東京拘置所の加藤智大氏の死刑を執行したことに抗議し、死刑執行を繰り返さないよう強く要望いたします。

日本基督教団は、1982年第22回総会において、死刑執行の中止を求める声明を採択し、死刑制度の見直しを願い、死刑執行の都度には抗議声明を出し、繰り返すことがないように要請してまいりました。しかし、死刑執行がなされました。まことに遺憾です。

人命を損なう非人道的行為は、犯罪によるものはもちろん、たとい法の執行によるといえども許されるべきではありません。犯罪による被害者やそのご家族のやり場のない深い悲しみや怒りまた恐怖に、心から同情し、共感いたします。それ故にこそ、加害者の命を死刑によって奪うことでは真の解決にはならず、悔い改めによる新生と心からなる謝罪を通して和らぎへと至ることこそ、真の慰めとなることを信じます。

どのような人でも、その人命が尊重され、一人一人の人権が守られる社会を作ることこそ私たちの願いであり、その実現のために祈りかつ努める所存です。政府もまた、これをなすべき急務であると心得、より一層の努力を傾注されますよう、期待してやみません。